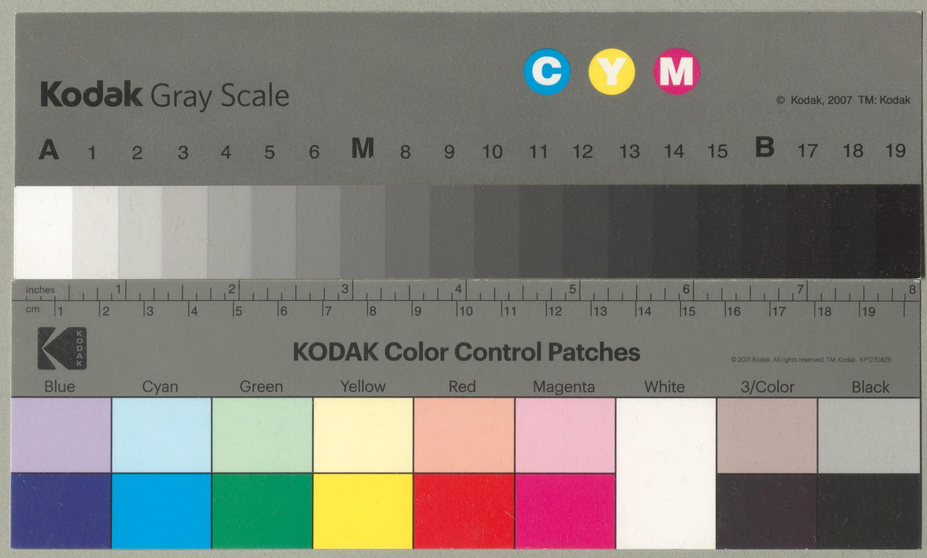
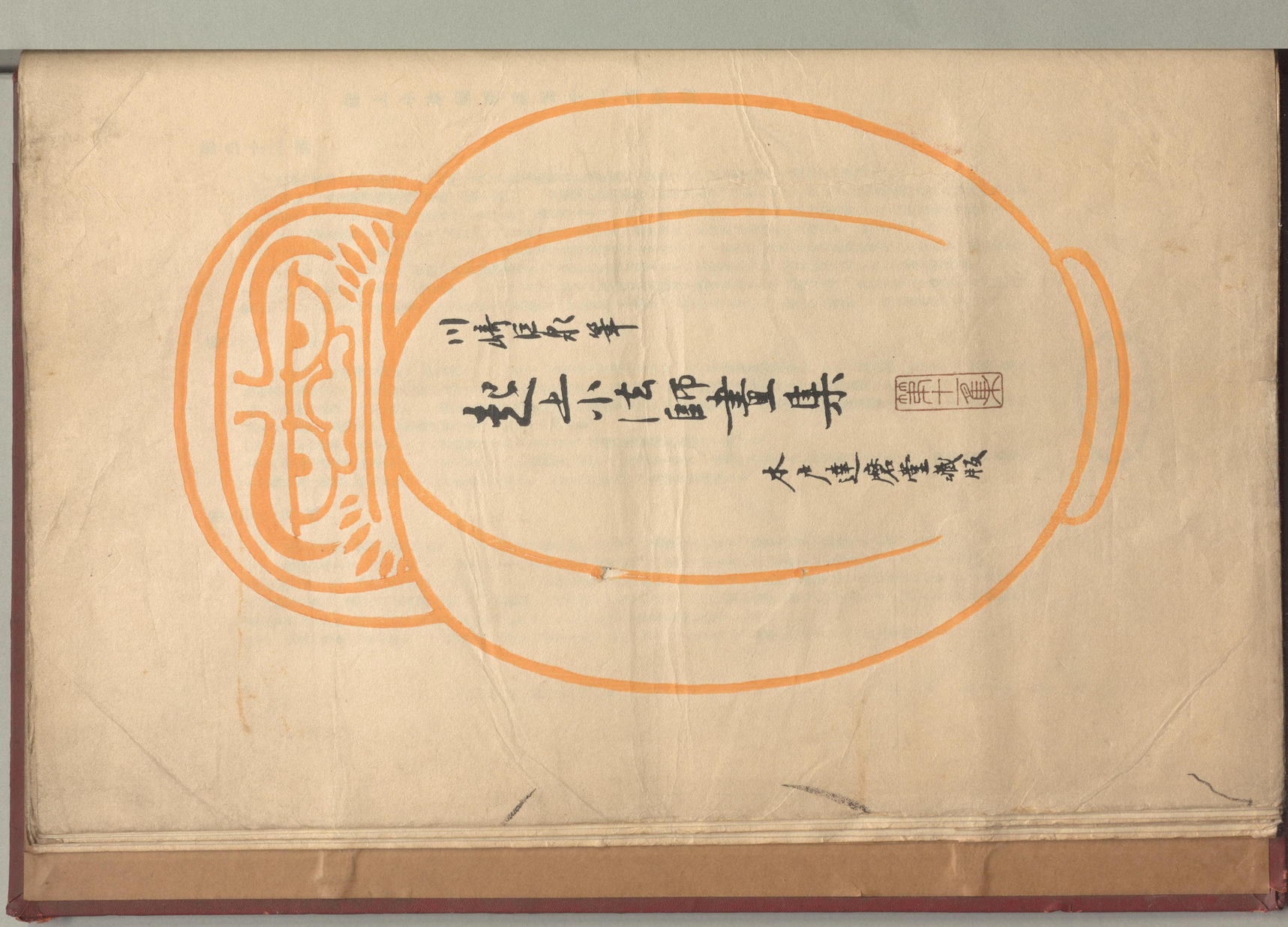

Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
KODAK Color Control Patches
© 2021 Kodak. All rights reserved. TM: Kodak. KP127082B
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black


川崎記念
松山小学師範学校
大正十四年
大阪連隊区司令部蔵版

起上小法師畫集第十一集解說

第三十一圖

（一）川越の達磨（張子製）　毎年一月三日両大師縁日に喜多院にて賣出さる。眉を壽の字にて描けるが特徴なり。
（二）（三）（四）埼玉縣岩槻附近の達磨（張子製）　岩槻越ヶ谷間各所に製造元あり。岩槻にては二月一日久伊豆神社の縁日及同月六日の初市に賣出さる。（二）は五色達磨なり。普通品は皆目無達磨にて、川崎西新井方面のものと同樣なり。大宮浦和邊にも賣出さる。殊に一月一日及二月一日大宮氷川神社境内の達磨市は古來有名なり。市内は一月十日金刀羅神社境内にて開かる。顏の描法は埼玉地方のそれと大差なきも、両側の鬢模樣渦卷化せり。眉鬚に本毛を植えしもの頗歡迎せられ、出品の約七割を占む（第七圖參照）
（五）八王寺の達磨（張子製）　一月二日拜島村大日堂の達磨市は古來有名なり。市内は一月十日金刀羅神社境内にて開かる。顏の描法は
（六）（七）小田原附近の達磨（張子製）　十二月十八日小田原郊外飯泉觀音の縁日を始として大晦日まで、此地方各所に賣出さる。（六）は青目なるが、大なるは皆白眼なり。（七）は少し。此圖の（一）は實物より稍小く、（二）は三分の二、（五）は二分の一、他は實物大なり。

第三十二圖

（一）（二）（三）宇都宮の達磨（張子製）　一月十一日市内上河原に市立つ。（一）は描法豐岡達磨に、（二）は白川製に類するも、側面に縱の
鬢線多きは共通なり。賣品の三割は目有なるが、大部分は目無なり。豐岡、白川及岩槻の達磨も來る。（三）當地製なるや疑はし。
（四）白川の達磨（張子製）　舊正月十四日役場前通りに賣出さる。いづれも目有なり。宇都宮より目無達磨輸入せらるゝも、賣行思はし
からず。顏面の描法多少三春福島方面のものに似通へる点あり。

（五）三春の達磨（張子製）　同地製の小形のものにて、前面の鬢模樣を胡粉にて描けり。
（六）山形の達磨（張子製）　十二月三十一日旅籠町に市立ち、達磨をも賣る。此種の小形なるには目無なるもありて、關東方面の風俗少
し〳〵行はる。此圖に示せるは、（一）は實物より稍小く、（四）は五分の三、其他は實物大なり。

第三十三圖

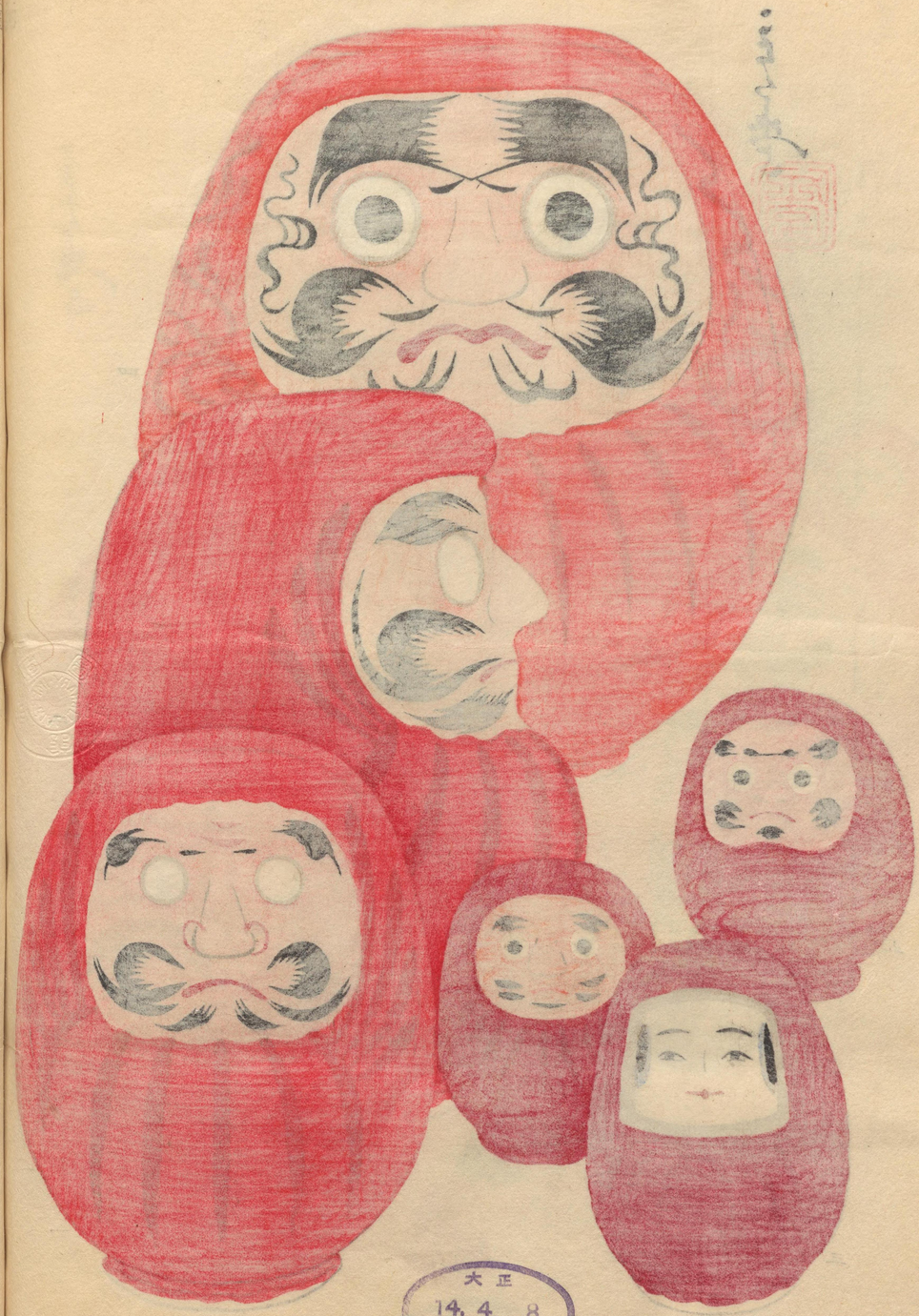
（一）天草本渡町の達磨（張子製）　女性なり。緣起物にあらず。一老媼の手に成り、其製法極めて幼稚なるが却つて面白し。
（二）琉球の起上り（張子製）　那覇市にては舊五月五日唾拂の日に、他の人形と共に之れを飾る。方言ウッチリクブシと云ふ由。
（三）（四）（五）（六）朝鮮の不倒翁（張子製）　二十年程前までは、舊四月八日萩の枝にて作れる提燈などゝ共に露店にて商ひしものなるが、
今は絶えて無し。漢字にて不倒翁と書くも、朝鮮語にては俗稱オットキと云ふ。（三）は數年前特に製られしものなり。（四）（五）（六）は舊製にて
山内神斧氏の所有に係る。（四）は童子を肩又は頭の上にて自由に扱ふ大道輕業師を模せしものなり。
（七）大蓮の達磨（張子製）　明治四十三四年の頃賣り出せしが、間もなく絶えたり。此圖に示せるはいづれも實物大なり。

大正十四年三月

木戸忠太郎記

大正 14. 4. 8 内交

大正
14. 4. 8
內交



大正
14. 4. 8
內交

大正
14. 4. 8
竹次

大正十四年四月　十日印刷
大正十四年四月　五日發行

畫者　川崎巨泉

京都市上京區土手町夷川上ル
末丸町二百八十四番地
編輯印刷兼發行者　木戸忠太郎

京都市上京區土手町夷川上ル
發行者　木戸忠太郎
電話上一一九九・振替口座六八五九九